

第7次「地域密着型金融推進計画」（要約版）

（令和6～8年度）

会 津 信 用 金 庫

1. 計画名称	第7次「地域密着型金融推進計画」
2. 推進期間	令和6年度～令和8年度の3年間
3. 基本方針	令和6年度からスタートする新中期経営計画『未来を拓く変革への挑戦2024』における重点戦略として掲げたとおり、これまでの地域密着型金融推進の取組みを更に深化させて、当金庫と会員、地域住民等との連携強化並びに地域の課題解決や持続的発展に貢献するため、新たな3ヵ年計画を策定し、地域密着型金融の推進に努めます。
4. 取組項目	(1)取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮 (2)地域の面的再生や地域産業の下支えへの積極的な参画 (3)地域や利用者に対する積極的な情報発信 (4)利便性の向上

(1)取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

① 創業・新事業支援

- ・創業・新事業案件の分析・助言と資金供給を積極的に行います。
- ・地域イノベーションアドバイザー塾への派遣など創業やベンチャー企業を支援できる人財を育成します。

② 成長支援

- ・信用金庫ネットワークを活かした販路拡大等本業支援を行います。
- ・「ケイエール」の運用により企業のDXを支援します。
- ・脱炭素化に取り組む企業への金融支援およびコンサルティング体制の充実に図ります。
- ・補助金・助成金や制度融資の情報を提供します。
- ・担保・保証に必要以上に依存しない融資の適切な対応に努めます。

③経営改善支援

- ・経営支援先の進捗状況把握と助言を行います。
- ・外部機関と連携し、事業者の実情に応じた経営改善支援を行います。
- ・「プロフェッショナル人材戦略拠点」の活用促進を行います。
- ・職員のコンサルティング能力や目利き力の養成に努めます。
- ・中小企業活性化協議会等外部機関と連携を強化し、取引先の再生支援を図ります。
- ・専門家や外部機関等との連携により、事業承継・M&Aを支援します。

(2) 地域の面的再生や地域産業の下支えへの積極的な参画

①地域の面的再生

- ・地域行事への参加など、地域貢献に積極的に取り組みます。
- ・A i c Tコンソーシアム会員企業として、会津若松市「デジタル田園都市国家構想」事業に積極的に参画します。

②地域観光活性化支援

- ・地域産業である観光の活性化を図るため、信用金庫のネットワークを活かした観光客誘致活動や、「わがまち基金」を活用した取り組みにより地域観光を支援します。

(3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信

- ・地区内の景況レポートを定期的に発行し、経営情報を提供します。
- ・地域密着型金融の取り組みに対する成果をHP等で公表します。
- ・各種セミナーを開催し、金融情報を提供します。
- ・「まちスク会津」等による中高生を対象にした金融教育を実施します。

(4) 利便性の向上

①お客様満足度の向上

- ・顧客ニーズをモニター制度や満足度調査により把握し、金庫経営に反映します。
- ・苦情事例と防止策を営業店に周知し、業務の改善に努めます。

②DX推進

- ・通帳レス、キャッシュレス決済等のモバイルアプリを拡充し利便性向上に取り組みます。
- ・営業店窓口支援システムの導入により窓口業務の効率化に取り組みます。